

## 1月28日のトルコの政策金利の引き上げについて

### 政策金利を4.5%から10%に引き上げ

1月28日、トルコ中央銀行は臨時の金融政策決定会合を開催し、主要政策金利である1週間物レポレート<sup>1</sup>を4.5%から10%に大幅に引き上げました。加えて、市場金利の上限となる翌日物貸出金利を7.75%から12%に、市場金利の下限となる翌日物借入金利を3.5%から8%にそれぞれ大幅に引き上げました。同中銀は、1月21日の定例の金融政策決定会合において、政策金利を据え置いており、臨時会合開催の発表を受けて、市場では利上げが予想されていましたが、利上げ幅は市場の予想を大幅に上回りました。

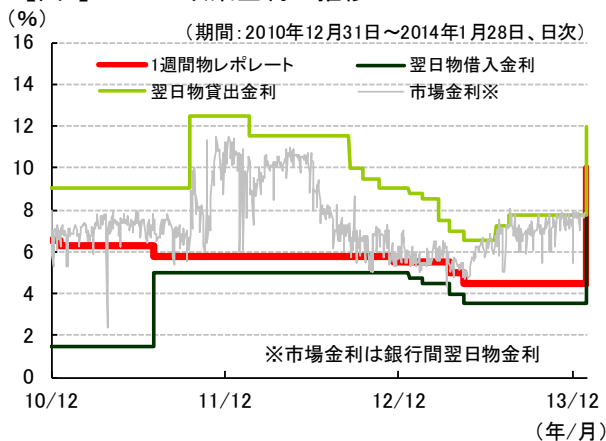
### インフレ、通貨安と闘う姿勢を明確化

同中銀は、会合後に発表した声明の中で、トルコリラの急落や市場のリスク回避姿勢の高まりなど、最近の国内外の市場環境がインフレ率や経済の安定に与える負の影響を抑えるため、必要な手段を講じるとしています。加えて、インフレ率の見通しが改善するまで強力な金融引き締め政策を維持するとしています。

トルコリラは、1月21日の利上げ見送りやアルゼンチンペソ暴落を契機とした新興国経済への懸念などから、対米ドルで過去最安値を更新していましたが、1月27日の臨時会合開催の発表を受けて上昇に転じ、今回の利上げ発表を受けて大幅なトルコリラ高米ドル安基調で推移しています。市場では、今回の利上げは通貨を支える同中銀の強い意志を示すものと捉える見方もあります。1月29日の外国為替市場（東京時間9時頃）では、対米ドルで前日比3%程度、対円で同3%強のトルコリラ高となりました。次回の金融政策決定会合は2月18日に開催される予定です。

以上

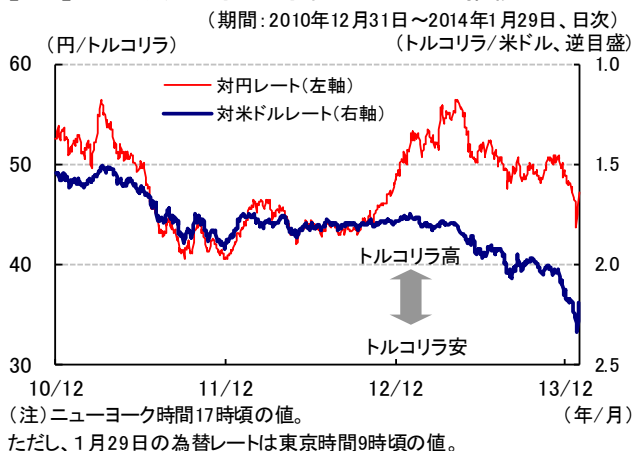
【図1】トルコの政策金利の推移



【図2】トルコの消費者物価指数（前年同月比）の推移



【図3】トルコリラの対円・対米ドルレートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。